

危（あぶ）ないところは12箇所（かしよ）。いくつわかったかな。



1. カーペットのめくれ  
カーペットなどはわずかな厚みですが、おとしよりはつま先の上がりによくいる人が多いので、つまづく危険性（きけんせい）があります。
2. こたつふとん  
つまづく危険性があります。
3. 新聞紙や雑誌（ざっし）  
床（ゆか）においた新聞紙や雑誌は、つまづく危険性があります。また、気がつかずにふんでしまい、すべって転ぶこともあります。
4. スリッパ  
つまづく危険性があります。また靴（くつ）とちがい、ゆとりがあるので、ぬげたり、すべったり、転びやすくなります。

5. 部屋の入り口の段差（だんさ）  
大きな段差よりも気をつけずに無意識に歩くので、数センチ程度の段差につまずく危険性があります。
6. 階段  
足の筋力がおとろえ、階段から落ちる危険性があります。また靴下などをはいていると、階段がすべりやすくなります。
7. お風呂場（ふろば）のタイル  
タイルはぬれるとすべりやすくなり、転ぶ危険性があります。
8. 浴そう  
入浴でのぼせると、浴そうから上がるときにふらつく危険性があります。
9. 電気コード  
コードが床にはっていると、つまずく危険性があります。
10. カーテン  
長めのカーテンは足にからまり、つまずく危険性があります。
11. ガス  
ガスの火をつけたまま、鍋（なべ）などを移動すると、洋服のそでに火がつくなどの危険性があります。
12. 暗いろう下  
明るい室内から、暗いろう下などに急に出たとき、目がなれず転ぶ危険性があります。